



東洋英和女学院大学

TOYO EIWA UNIVERSITY



東洋英和女学院大学では、大学での学びや経験がどのように卒業生の皆さんに役立っているかを知るために、卒業後3年、5年、7年経過した卒業生へアンケートを行っています。
 社会に出てから大学生活を振り返った卒業生のコメントを通して、本学の学びについてご理解いただけますと幸いです。

■ 調査の方法: インターネットによるアンケート調査 ■ 調査対象: 卒業生(2016年度、2018年度、2020年度卒)
 ■ 調査時期: 2023年12月 ■ 回答者: 288名

卒業生のコメントから

東洋英和女学院大学の3つの魅力!

01

少人数教育

- 先生との距離が近いので、質問や雑談がしやすかった。
- 少人数の授業が多く、他の大学よりも発言する機会に恵まれていると思う。それが卒業時のやりきったという達成感にもつながった。
- 卒業後もゼミの先生が気遣ってくれる。

02

女子大

- 女子大での豊かな4年間を通じ、女性の社会的あり方について考えることができた。その経験は今の生活にも活かされている。
- 女子大ならではの教育、授業を通して、共学にはない体験ができた。また先生方も私たちの目線で接してくださり、過ごしやすい大学生活だった。

03

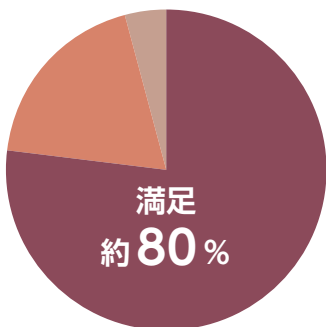
ゼミの学び

- 国際社会学部では学科を問わずゼミが選択できるので、学科を越えた環境で、やりたいことを突き詰めることができた。
- 他大学との合同ゼミが一番充実した学びだった。課題に対し、さまざまな意見をぶつけながら解決策を考えていくのは面白かったし、いろいろな考え方を学ぶことができた。

【東洋英和女学院大学を卒業したことへの満足度】

- ◆ 勉強に一生懸命に取り組み、夢にも思わなかった大学院進学まで実現した。大学院での勉強は大変だったが、大学時代に頑張ったこと、諦めなかったとか、やり続けたことが支えになった。学びに対するモチベーションを上げるような授業をしてくれた先生方には感謝している。
- ◆ 尊敬できる教員に出会えたことが、何よりも東洋英和に入ってよかったと思う理由。また、オリエンテーション合宿への上級生としての参加やかえで祭実行委員の活動を通して、学問以外にも学ぶことが多かった。
- ◆ スカラシップ生として4年間学費免除を維持することが、勉学に力を入れるモチベーションになった。
- ◆ この大学で過ごせて心から良かったと思っている。先生や職員、友人にも恵まれて、たくさんの挑戦ができる環境が整っていた。
- ◆ 地方からきた人も温かな雰囲気の中で成長できると思う。キリスト教的な牧歌的な環境で学べてとても幸せだった。

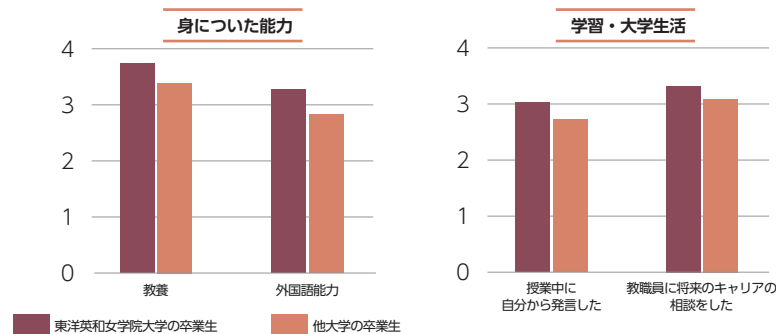
大学満足度



■ 満足 ■ どちらともいえない ■ 不満

他大学(※)と比較した本学の特徴

他大学と比べると、本学の卒業生が身に付いたと感じている能力や、学習や大学生活の中に特徴が表れています。



※「PROG 白書 2021」で行われた他大学の卒業生約1500名の調査。比較可能な同一のアンケートの設問の回答結果の一部となります。
 ※在学中の学びを振り返り、修得度を数値で回答していただいています。

大学で身についた力 × 社会で必要な力

- ☑ 大学で経験したことが、就職してからの糧になっている。人間関係など周りの人との付き合い方などにも大学の経験が活かされている。
- ☑ 大学での異文化の学びや留学の経験を通して考え方が大きく変わり、客観的に物事を見る力がつき、いろいろな人の考え方を否定するのではなく一度受け入れることができるようになった。
- ☑ 当時は大変だったが先生やゼミ生と議論しながら課題に取り組んだ経験が、社会人になって活かされている。



大学でのさまざまな授業やプログラム



- ☑ 心理について、さまざまな角度から学ぶことができた。
- ☑ キリスト教保育を学ぶことができた。
- ☑ 国際問題や政治経済など幅広く学ぶことができた。
- ☑ 留学制度を利用し、単位を取得できた。
- ☑ 司書の資格取得や、デンマーク研修が良い学びとなった。

卒業生の社会での活躍

現在の職場で仕事を通じた
成長実感がある

86.5%

現在の仕事に意欲的に
取り組むことができる

77.3%

現在の仕事で
評価されている

73.1%



本学で学ぶ後輩へのメッセージ

- ☑ 学習環境や就職支援が充実しているため、他大学の人から羨ましがられると思う。今ある環境でいろんなことに思い切って取り組んで、のびのびと過ごしてほしい。
- ☑ 自然豊かなキャンパスが嫌になることもあるかもしれないが、卒業した今だからこそ感じるの、緑の中で過ごした学生時代の記憶は色褪せず、今も振り返るくらい有意義な時間だったこと。4年間はあっという間なので、楽しんでほしい。
- ☑ 大学の授業とアルバイトだけではせつかくの4年間で充実せず、社会人になって「自分は大学で何をしたらろうか？」と問うことになる。大学の施設の活用や留学プログラム、ゼミの活動等さまざまなことを+αとして積極的に行ってほしい。

在学生の姿は大学ホームページや公式 SNS をご覧ください

大学ホームページQRコード ▶



お問い合わせ

東洋英和女学院大学

住所：〒226-0015 神奈川県横浜市緑区三保町 32

mail：kikaku@toyoeiwa.ac.jp